

「広報・出版委員会」

1. 構成員

1) 委員

委員長：堀内成子（聖路加国際大学）

委員：佐藤みほ（横浜市立大学）、瀬戸山陽子（東京医科大学 教育 IR センター）、
園田希（日本赤十字九州国際看護大学）、益田美津美（名古屋市立大学）、
米倉佑貴（聖路加国際大学）

2) 協力者

なし

2. 趣旨

看護に関する情報を会員校ならびに社会に向けて広報することで、看護学教育の発展を支えることを目的とする。

3. 活動経過

1) 新型コロナ関連の取材対応（資料1参照）

JANPU から発出した文部科学省・厚生労働省等への要望書に対して、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の各メディアから取材依頼や問い合わせが多数あった。

主な取材内容は、「ひっ迫している医療機関・保健所等への看護師資格をもつ教員・大学院生の支援」、「国家試験受験時のコロナ罹患による特別措置」、「実習が医療機関でできないことへの学生の懸念」、「実習を経験できなかった看護学生への卒業後の対応」等があり、多岐にわたった。

2) 高校生、保護者、看護教員、看護職者につながる SNS の活用（資料2参照）

上記1) の影響でホームページの閲覧数が増え、一時的にサーバーがダウンすることがあった。Facebook は週1回の定期投稿、「今月の注目！看護教員」を含む新着情報やセミナー・シンポジウムの案内を発信。Twitter は、ザ・データベース・オブ JANPU（以下 DOJ）関連や YouTube リンク、ホームページの新着情報、セミナー・シンポジウム等を発信した。

3) 魅力的なホームページへの改革

①新型コロナウイルス感染症の対応と情報提供について

トップページの専用バナーにコロナに関する教育教材、感染予防に関する情報を提供し、広く活用できる資料を掲載した。 <https://www.janpu.or.jp/virus-info/> （資料3参照）

②「今月の注目！看護教員」 <https://www.janpu.or.jp/staff/>

看護職を目指す高校生を対象に看護教員を紹介すること、また看護教員同士の相互交流の活性化を目的としている（資料4参照）。

③トップページの画像を変更

在宅看護関連（「保健、医療、福祉の全てに関わる看護活動を推進します」）の画像を既製の写真から本委員の所属している大学で撮影したものに変更した（資料5）。

④ホームページのアクセス状況（資料6参照）

本体サイトのアクセス数を見ると、昨年度と比較して、ユーザーは約85%増加していた。スマートフォンでの閲覧率は51%となり、昨年度より2%上昇していた。新型コロナ関連の情報ページに多くの関心が集まり、昨年比2倍のユーザー数を超える月もあった。それに伴い新規ユーザー

が多くなっているため、よりわかりやすく適切な情報提供を行う必要がある。

DOJ サイトのアクセス数を見ると、昨年度より約 20%増加し、登録大学の数も目標の 200 大学に近づいてきた。学生向けの「よくある質問」ページが最も多くのユーザー数を獲得していたため、より詳しい情報を提供できるよう検討していく。

4) 高度実践看護師を広く周知するための広報戦略

高度実践看護師の存在・役割の社会的認知度を高めるための積極的な広報戦略として、多くの看護職員が活用しているサイト“看護 roo!”に取材を依頼した。広報・出版委員会で検討した企画をもとに取材・記事作成・編集・情報発信をしていただきそれを JANPU のホームページや SNS などに紐づけるといふ広報戦略である。臨床で働く看護職員にとって、わかりやすく、また魅力的な資格としての高度実践看護師 (CNS/NP) の教育課程を紹介する予定である。2021 年 3 月に第 1 弾が紹介された。

<https://www.kango-roo.com/specialist/cns/>

5) 日本看護系大学協議会 40 年誌の抜粋版の作成

2016 年に作成した JANPU40 年誌「JANPU40 周年の歩み、そして未来へ」の抜粋版を作成し、ホームページに掲載した (資料 7 参照)。

<https://www.janpu.or.jp/40th/> ⇒ <https://www.janpu.or.jp/40th/summary.pdf>

6) Nursing Now について会員校へ周知、JANPU 紹介スライドの作成

2021 年 1 月 21 日 (木) に開催された「Nursing Now : 看護の力で未来を創る」について、会員校へ周知を行うとともに、JANPU の紹介スライドを作成し、ホームページに掲載した。

7) JANPU を紹介する学生向けリーフレットのリニューアル

ホームページに掲載している「大学で看護を学ぼう！」リーフレットの内容および構成デザインについて、現状に即したかたちで修正・更新を行った。次年度は、一般向けのリーフレットも作成する予定である。

8) 情報共有システムの運用に向けた取り組み

看護系大学間で様々な情報を共有できるようなシステムの運用を検討しており、弊会の Facebook アカウントに新規グループ「JANPU Cafe」を作成した。現在は委員会メンバーで詳細の設定や試行作業を行っており、次年度以降、本格的に運用していく予定である (資料 8 参照)。

<https://www.facebook.com/groups/195692329011934>

9) 外部機関セミナー等の JANPU ホームページおよび SNS への告知掲載に関する条件の検討

外部機関より JANPU ホームページへのセミナー等の告知掲載依頼が多数あるため、掲載条件等を検討・整理して、ホームページ規約 (https://www.janpu.or.jp/site_policy/index.html) に反映していく。

4. 今後の課題

- 1) COVID-19 禍での看護基礎教育・大学院教育の充実を図るための情報交換の場の形成
- 2) 魅力的かつ活用したくなるような SNS およびホームページのより一層の改革
- 3) 高度実践看護師 (CNS/NP) の社会的認知度をあげるための広報戦略

5. 資料

1) 新型コロナウイルス感染症に関連するメディアからの問い合わせや取材・執筆依頼

※1: 区分は、「取材」「執筆」「問合せ」の3つのうちいずれか。

※2: 空白の箇所は、メディアに掲載されたか事務局で確認が取れていない。

※3: No. 40は看護系大学に特化した受験雑誌（年刊誌）で2015年より毎年掲載、No. 39は2021年3月に連載を開始し継続的に取材記事を追加していく予定。

No.	依頼日/問合せ日	メディア名	区分※1	取材・執筆内容/問い合わせ内容等	取材・執筆担当/問い合わせへの返答等	取材諾否	掲載/放送※2
1	8月7日	日本看護協会出版会	執筆	「教育機関のコロナ禍による影響—日本看護系大学協議会の対応」	菱沼理事 原稿執筆	諾	3月10日 ナース発 新型コロナウイルス現場レポート
2	9月4日	NHK首都圏ネットワーク	取材	コロナ禍の看護系大学の臨地実習の現状、卒後研修等について	菱沼理事や会員校への取材、「2020年度4年生の臨地実習科目（必修）の実施状況調査」結果、JANPUから厚生労働省への要望書をもとに編集されたもの	諾	10月16日（金） NHK首都圏ネットワーク放送
3	9月23日	毎日新聞東京本社 統合デジタル取材センター	取材	厚生労働省への要望書ならびに「2020年度看護系大学4年生の臨地実習科目（必修）の実施状況調査結果報告書」について	菱沼理事 電話取材	諾	10月10日付 毎日新聞ニュースサイト掲載 (JANPUホームページにも掲載)
4	10月1日	医学書院	取材	ポストコロナ時代に向けた看護系大学の針路は	山本代表理事 取材	諾	12月14日付 「医学界新聞」 (JANPUホームページにも掲載)
5	10月22日	日本看護協会出版会	執筆	政策に影響を与える諸団体の活動	山本代表理事、堀内理事 歴代の代表理事が執筆した内容を更新	諾	「看護管理学習テキスト 第3版 第1巻 ヘルスケアシステム論」 第4章「看護制度と政策決定過程」
6	10月27日	毎日新聞西部本社 報道部	取材	文部科学省・厚生労働省・自民党に提出した要望書について	菱沼理事 メディアからの問い合わせ内容に回答	諾	毎日新聞 福岡面
7	12月21日	産経新聞大阪本社 社会部	取材	新型コロナウイルスの学生らの臨地実習への影響について	菱沼理事 電話取材	諾	12月23日付 産経新聞朝刊社会面
8	1月5日	TBS	問合せ	同TBS内の別の番組からも問い合わせあり	JANPU会員校数は287と回答		
9	1月5日	テレビ朝日 ニュースセンター社会部	取材	厚生労働省から要請のあった「看護系大学教員等による支援」について、医療現場での様子のインタビュー取材	各大学から直接厚生労働省に報告書を提出することになっており、弊会では具体的な支援内容は把握していない。直接、大学に問い合わせしてほしい旨伝える。【回答1】	否	
10	1月5日	テレビ朝日 「羽鳥慎一モーニングショー」	問合せ	【メール問合せ】 ①看護系大学院生や教員の支援については歓迎か？反対か？その理由 ②大学院生は看護師免許をすでに持っているのか？国家試験と重なって難しいのではないのか？ ③即戦力として動くことは可能か？教員のプランクはどうなのか？ ④看護系大学の教員や大学院生は全国で何人いるのか？	①医療崩壊を防ぐことに貢献できるなら、歓迎とか反対というスタンスではなく、この非常事態にあたり、専門職としてできることはすべきという考えである。 ②大学院生すべてが、看護師の免許を持っているわけではないが、多くの院生は免許を有し、かつ現場経験を積んだのちに進学してきているので、今回の要請の中に、大学院生が含まれたと理解している。前述のように学生としての研究・勉強に支障のない範囲での協力であるので、保健師・助産師国家試験の準備をしている大学院生などは対象外になると考えている。 ③COVID-19の重傷者病棟で即戦力になるのは、ICUの看護などの経験があるごく限られた一部の教員・大学院生と想定される。看護師免許を有する看護教員のうち、臨床実習指導にあたりかかっている教員は、実習先の部署の様子がかかりわかっており、対応可能な場合もある。大学教員は何らかの専門領域を持っているので、その専門を生かした支援も可能である。クラスター発生が危惧される介護保健施設や事業所などでの感染対策に、大学教員である専門家の協力支援も可能である。		放送されず
11	1月5日	NHK 社会部	問合せ	【電話にて問合せ】 教員や大学院生が実際に医療現場に支援に行ったケースについて伺いたい。	No9.の【回答1】と同様。		
12	1月5日	読売新聞	問合せ	【電話にて問合せ】 厚生労働省からの通知を受けて、会員校の現場支援への動きはどうなったか	No9.の【回答1】と同様。		
13	1月5日	大阪毎日放送	問合せ	【電話にて問合せ】 JANPUとはどのような組織か？看護師の国家資格、看護師になるためにはどのような教育をうければよいのか？	ホームページに掲載している「JANPUとは？」の内容や定款の事業の目的などを説明した。		
14	1月5日	熊本新聞/放送	問合せ	【電話にて問合せ】 ①県内のある看護系大学にJANPUより本通知に関する連絡等が来ているか聞いたら「届いていない」と回答があった。HP掲載以外では周知していないのか ②厚生労働省からの事務連絡なのに表題に文部科学省の名前もあるのはなぜか。	①HP掲載かつ会員校の「代表者（社員）」宛にメール配信をしている。会員校によっては事務や他の教員のもとへ情報が届いていない場合が考えられる。 ②厚生労働省から文科省へ支援について看護系大学に周知の依頼をし、文科省より各大学学長へ通知をしている。		
15	1月5日	朝日新聞	問合せ	【電話とメールにて問合せ】 ①HP掲載の依頼文をお送りいただきたい ②会員校数を知りたい	【メールにて回答】 ①HPのURL送付 ②287校と回答		1月6日付の朝日新聞に掲載

No.	依頼日/ 問合せ日	メディア名	区分 ※1	取材・執筆内容/問い合わせ内容等	取材・執筆担当/問い合わせへの返答等	取材 諾否	掲載/放送※2
16	1月5日	NHK 首都圏局	取材	【取材依頼】 厚生労働省から要請のあった「看護系 大学教員等による支援」について、医 療現場での様子のインタビュー取材	No9.の【回答1】と同様。	否	
17	1月5日	NHK 放送文化研究所 (報道の在り方を研究して いる団体)	問合せ	【電話にて問合せ】 ①COVID-19拡大に伴う医療機関等への 支援について詳しく伺いたい ②学徒動員などとネットでは言われて いるが、支援者に給料は支給される か。どこが給与を支払うのか。	①本件はあくまでも協力依頼であり、強制 ではない ②支援に行った際の給料等はJANPUでは一 切把握していない。そういった点につい ては各大学ごとに検討してうえで実施して いると思われる。		
18	1月6日	文化放送 報道スポーツセ ンター	取材	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 医療機関等への支援について	堀内理事 生放送・電話出演	諾	1月7日 ラジオ番組「斉藤一美 ニュースワイドSAKIDORI」
19	1月6日	テレビ朝日	問合せ	【電話にて問合せ】 産経新聞に掲載された調査結果につ いて	HPに掲載されているCOVID-19調査結果につ いて説明		
20	1月6日	千葉県庁	問合せ	【電話にて問合せ】 千葉県の看護系大学で教員や大学院生 が実際に医療現場に支援に行ったケ ースはあるか	No9.の【回答1】と同様。		
21	1月7日	テレビ朝日 「スーパーJチャンネル」	問合せ	【電話にて問合せ】 COVID-19に伴う看護学実習への影響調 査結果のご報告(調査A)のデータ利 用について	データ利用について許諾		
22	1月8日	日本テレビ報道局 「news zero」	問合せ	【電話とメールにて問合せ】 ①医療現場支援の対象は免許を持つ教 員や大学院生という理解で正しいか。 ②大学院生は、医療現場での実務経験 者か。 ③実際に現場支援している大学はどれ くらいあるか。	①大学院生全員が、看護師の免許を持っ ているわけではないが、多くの院生は免許 を有し、かつ現場経験を積んだのちに進学 してきている。看護師免許を取得する前 の学部生への要請ではない。 ②多くの院生は免許を有し、かつ現場経 験を積んでいる。 ③医療崩壊を防ぐことに貢献できるなら、 歓迎とか反対というスタンスではなく、こ の非常事態にあたり、専門職としてでき ることはすべきと考えている。コロナに 限らず、東日本大震災をはじめとする各 種の災害などで、多くの看護系大学の 教員が被災地の支援をしてきている。今 度も、厚生労働省からの事務連絡より ずっと以前の、第一波発生の時から、 多くの教員が現場支援のために働いて いる。支援は医療機関に限らず、保健 所の保健師への支援もある。弊会では 支援している大学数を具体的には把握 していない。各大学から厚生労働省に 報告しているため、厚生労働省では 把握している。		
23	1月12日	毎日放送「ミント」	問合せ	【電話にて問合せ】 データ使用について ①2020年度看護系大学4年生の臨地実 習科目(必修)の実施状況 調査結果 報告書 ②COVID-19に伴う看護学実習への影 響調査結果のご報告(調査A)	許諾		1月12日生放送内で紹介
24	1月12日	毎日放送「ミント」	問合せ	産経新聞に「看護師になるための単位 取得に関して、最大1070時間の臨地 実習が必要であり、さらに助産師は10 程度の分娩対応が必要」と掲載され ていたが、 ①本内容は事実か。 ②コロナ禍で、実習ができなかった場 合単位はどうなるのか。	保健師助産師看護師学校養成所指定規 則と、単位の計算方法にちては大学設 置基準第二十一条第二項の規定の例を 参照するように回答した。指定規則の 別表2の備考欄に分娩10回程度につ いて記載あり。		
25	1月12日	テレビ東京	問合せ	【電話にて問合せ】 ①支援について各大学の実績 ②12/28以前の各大学の取り組みにつ いて	①No9.の【回答1】と同様。 ②春先から行っている大学もあると聞 いている。		
26	1月12日	NHK 福岡放送局	問合せ	【電話にて問合せ】 厚労省から出された協力依頼によっ て、教員や大学院生が実際に医療現 場に支援した内容について	No9.の【回答1】と同様。		
27	1月12日	共同通信 大阪社会部	問合せ	【電話とメールにて問合せ】 追試験実施を厚労省に要請した要望書 に対し、厚労省から濃厚接触者でも無 症状者ならば国試は受けられるもの の、追試験は設けられないとの回答が あったが、本件に対する受け止めや再 度要請するか方針を聞かせていただ きたい。また、昨年6月厚生労働省か ら、臨地実習を学内で代替授業を行え ば、国試受験資格が得られるとの通達 があり、JANPUの調査内で「病院での 実習機会がないまま、看護師になっ て大丈夫だろうか」という学生の不安 の声が取り上げられていたが、そのこ とに対する受け止めや提言について伺 いたい。	【メールにて回答】 国家試験に関しては、再度の機会がない という国の結論は大変残念だ。各大学 から学生にその旨を伝え、体調管理を するよう伝えている。現時点では、再 度要望をする予定はない。 今年度卒業する学生は、少なくとも3 年生(2019年度)までは予定の実習を 行っている。2020年度は、病院での 実習実施が少なくなっているが、その 点については就職後の新人研修で配 慮してほしいと関連各所に要望書を 提出している。		
28	1月14日	広島環境県民局	問合せ	【電話にて問合せ】 12/25付で厚労省から出されたCOVID- 19拡大に伴う医療機関等への支援につ いて、JANPUからも各大学へ周知を 行ったのか。	JANPU会員校の社員宛てにメールで配 信している。また、各大学長には文部 科学省からも通知が出されている。		

No.	依頼日/ 問合せ日	メディア名	区分 ※1	取材・執筆内容/問い合わせ内容等	取材・執筆担当/問い合わせへの返答等	取材 諾否	掲載/放送※2
29	1月19日	テレビ朝日 「ビートたけしのTVタックル」	問合せ	【電話にて問合せ】 「看護師が語る医療現場の実状」の特集を組む予定。12/25付で厚労省から出されたCOVID-19拡大に伴う医療機関等への支援について、支援状況を知りたい。また、私立だけにしか連絡がいないという話も聞いたが、実際はどうなのか。	No9.の【回答1】と同様。JANPU会員校の社員宛てにメールで配信しており、文部科学省からも各大学長宛に通知が出されているので、私立大学だけでなく全国の看護系大学へ協力依頼がなされていることも伝えた		
30	1月19日	東京新聞 読者部	問合せ	【メールにて問合せ】 ①追試験を設けない厚生労働省の対応をどう思うか？「短期間で作成すると試験の質に問題が生じる」との厚生労働省への見解についても教えてほしい。 ②コロナ禍、現場実習がなかなかできず、さらに試験前に徹底的な感染対策に専念しなければならない学生に対して、どう思うか？ ③罹患して受験できなかった学生にとって人生設計が変わるかもしれない。救済策は何かあるか？例えば、救済にはならないかもしれないが、看護助手となり来年受験する-など。 ④御協議会や日本私立看護系大学協会短期大学部門、日本看護学校協議会が連名で「令和3年の看護師・保健師・助産師 国家試験追試験の要望書」（昨年10月26日）を厚生労働省の医政局長宛に出しているが、厚生労働省からはどのような反応があったか？	【書面で回答】 ①再度の機会がないという国の結論は大変残念だ。各大学から学生にその旨を伝え、体調管理をするよう伝えている。現時点では、再度要望する予定はない。国家試験の質については質問の主旨が不明瞭なため、回答を控えたい。 ②COVID-19は疫病災害であり、感染予防の観点からすべての人々の社会生活に制約をもたらしている。 ③日本看護系大学協会としての回答はできかねる。会員校それぞれの判断により、COVID-19が理由で国家試験が受験できなかったと判明した時点から、学生への個別支援を行うと思う。 ④上記①の回答と同様。		紙面掲載日が決まり次第連絡がある予定。
31	1月20日	朝日新聞出版アエラムック 「週刊朝日」	問合せ	①看護系大学の新しい取り組み。グローバル化など。コロナ禍への対応。 ②看護系大学が増加しているが、全体的などのぐらいの数があれば理想的か。 ③国家試験受験指導への取り組み。大学による合格率の差について。	回答内容の概要は次のとおり。 ①コロナ禍の大学教育、新しい取り組み・全国の看護系大学において、遠隔授業と対面授業の工夫を行っている。特に医療現場に赴いて臨床実習の中止や制約が生じている為、それに代わる学内演習・シミュレーション授業・Web教材を使っている授業が展開されている。 ・海外研修を導入している多くの大学ではコロナ禍で海外研修できなくなっている。海外の協定大学とのオンライン授業やシンポジウム等の開催により、単位化を図る。 ②「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」（2019年12月）の報告によれば、量的な適切性だけでなく質の保証について検討されている。人口減少という2040年を見据えた高等教育の将来像の検討は、未だ途上であり看護系大学の数の理想には及べない。 ③大学での看護学教育の目的は、看護職として生涯働き続けることができるための基本的知識や能力、幅広い教養を修得すること。「国家試験」合格は大学教育の最終目標ではないが、学生が卒業後社会で看護職として働き始めるには合格しなければならない重要な試験である。国家試験受験指導への取り組み例を2-3紹介した。 大学による合格率の差については何も回答できない。（高等教育においては、看護師資格の取得を目指す学生が大半であるが、また看護学を学問として学ぶことに興味がある学生もいる。）	諾	回答した内容は掲載されず
32	1月中下旬	近畿日本ツーリスト (2回)	問合せ	協力できることはないか	今のところ特にないと回答		
33	1月中下旬	レオパレス21 (2回)	問合せ	医療現場支援をサポートするプランづくっている見てもらうことは可能かそれを大学院生に紹介してもらえるか	各大学が独自に現場支援を行っているので、JANPUが判断・紹介するのは難しい。	諾	
34	1月中下旬	一般人	意見	看護系大学の教員や大学院生を医療現場に支援するよりも、潜在看護師を活用すべきだ。厚生労働省や日本看護協会はどうか考えているのか。			
35	1月27日	読売新聞 西部本社社会部	取材	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、看護系大学の教員が保健所や医療機関の支援に入る事例を取材している。福岡県では久留米大学が久留米市保健所に支援に入っており、取材に協力頂いた。現場の取材は終えているが、業界としてのスタンスや考えを教えてください。 (質問項目) ①厚労省、文科省の支援依頼を、協議会としてはどのように受け止めているか？ ②依頼を受け、取り組んでいることはあるか？(例：各大学に文書で通知・・・) ③現在、いくつの大学が支援に取り組んでいるか、統計はとっているか？ ④大学教員が最前線に出ることに、懐疑的・批判的な意見もあります。そのような声に対して、どのように感じているか？	【書面で回答】 ①この非常事態下、看護の専門職としてできることはすべきと考えている。本会では、4月15日と12月21日に看護活動に協力する旨を表明し、会員校へも呼びかけをしている。12月末の厚生労働省からの事務連絡より以前から、多くの教員が保健所や医療機関に現場支援のために入っている。ただし、大学教員として本来の業務を遂行すること、大学院生としての研究・勉強に支障のない範囲で行うことが大前提。 ②本会の会員校287校の社員（各大学の看護学教育の代表者）宛にメールで協力依頼を周知した。 ③現在、本会では統計をとっていない。厚生労働省のフォームでの実績報告は各大学より直接厚生労働省に送ることになっている。全国の看護系大学は、さまざまなルートで、さまざまなやり方で医療機関や保健所への支援を行っている。いずれ本会でも情報を集約していきたいと考えている。 ④①の通り、専門職として可能な範囲での協力をし、あくまでも現場のニーズに合わせての支援活動と考えている。	諾	

No.	依頼日/ 問合せ日	メディア名	区分 ※1	取材・執筆内容/問い合わせ内容等	取材・執筆担当/問い合わせへの返答等	取材 諾否	掲載/放送※2
36	2月12日	NHK 社会番組部 総合テレビ「ニュースシブ5時」 (全国放送)	問合せ	コロナ禍で、様々な学生の学びの場に制約がでた1年。教育実習、看護実習、薬学実習、航海実習。現場では学びの場を確保しようと様々な工夫が行われた。長引くコロナ禍で、新しい実習の形も模索する教育者と必要なサポートを考える。このような放送で、御社の「COVID-19に伴う看護学実習への影響調査」から実態データを紹介したい。まず臨地実習がどれくらい中止になったのか？代替として、学内実習への振り替えや時期の延期、時間の短縮など工夫して対応をとったこと、さらに、実習の体勢に地域差もでているということなどを伝えられればと。放送では、具体的な工夫としてシミュレーターを使用したり、患者役に劇団員を用いて臨床実習を工夫している大学の取り組みを紹介予定である。	JANPUが本調査を実施した旨(出典)を明示することで許諾。	諾	2月22日 総合テレビ「ニュースシブ5時」
37	2月12日	フジテレビ 「Live NEWSイット！」	問合せ	【電話とメールにて問合せ】 ・10月26日にJANPUから厚生労働省に提出した要望書について 厚生労働省からのどのような回答があったのか？(追試はしない方針、〇〇で検討中など)	【電話で回答】 他の国家試験との足並みをそろえるために追試は行わないと、口頭で返答があった旨を説明した。		
38	2月18日	中日新聞	問合せ	【電話にて問合せ】臨地実習について学校の実施状況を知りたい(中止、学内に変更等)	【電話で回答】 ホームページに掲載している「【速報】COVID-19に伴う看護学実習への影響調査結果のご報告」、「2020年度看護系大学4年生の臨地実習科目(必修)の実施状況調査結果報告書」の内容を説明した		
39 ※3		株式会社クイック	取材	専門看護師への取材記事 専門看護師に関する基礎情報記事の掲載	JANPUより紹介した専門看護師の取材 専門看護師基礎情報の提供と内容添削等	諾	3月末に掲載。看護roo!サイト内 https://www.kango-roo.com/specialist/cns/
40 ※3		株式会社アローコーポレーション	執筆	JANPUについての紹介・情報、大学で看護を学ぶこと、高校生向けスマホページを掲載	JANPUと看護系大学の基礎情報の更新	諾	3月末発刊、「NURSE+2021」 https://www.allow-web.com/nurse-plus/
41	3月3日	北海道新聞	問合せ	昨年「令和3年の看護師・保健師・助産師 国家試験追試験に関する要望書」を发出していたが、 ①実際に国家試験を受験できなかった実例を教えてください ②次回以降の国家試験について、再試験の要望を行う予定はあるか。	①実例については現時点では把握していないと回答。 ②未定。		
42	3月19日	東京メトロポリタンテレビジョン株式会社 TOKYO MX 放送本部 報道局 報道部	取材	【取材依頼】 「臨地での実習を受けられなかった看護師」について	日程調整が難しく、取材は見送られた。	否	

2) SNS (Twitter・Facebook)

JANPU ホームページのトップページから簡単にアクセスできます。

【Twitter】



【Facebook】



3) 新型コロナウイルス感染症の対応と情報提供

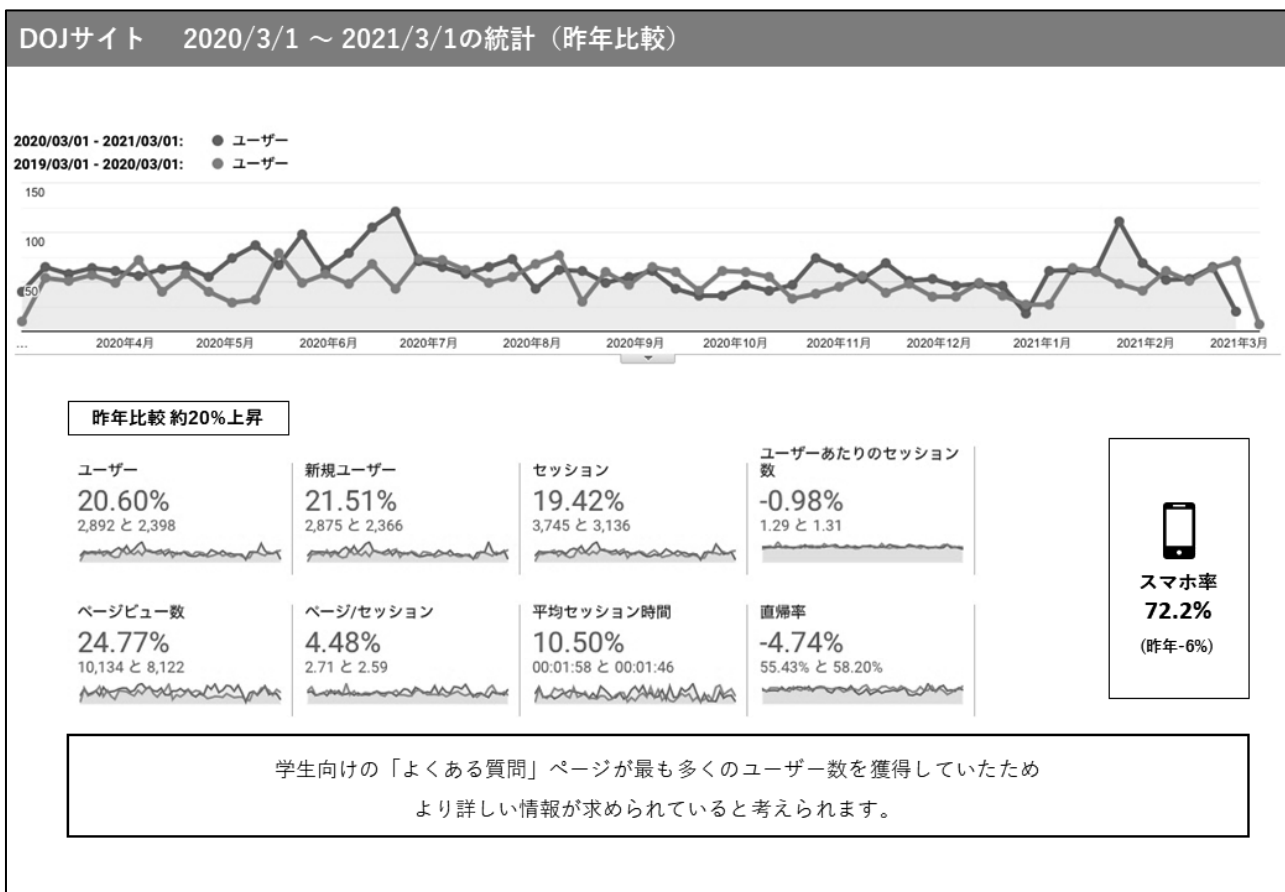
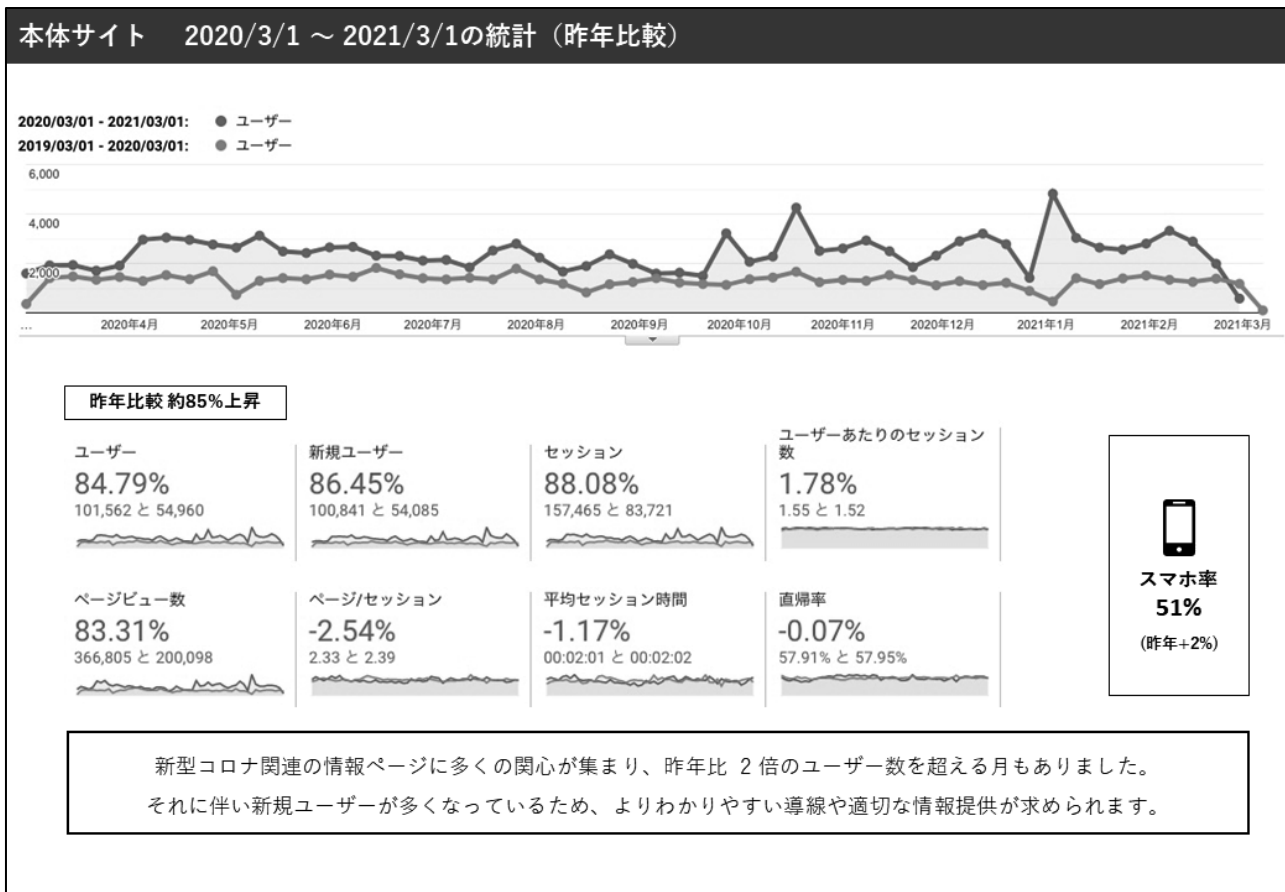
JANPU ホームページのトップページにある専用バナーより、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報が確認できる。



4) 今月の注目！看護教員

5) トップページでの在宅看護関連画像を変更

6) ホームページのアクセス状況の変化



7) 日本看護系大学協議会 40 年誌の抜粋版

新着情報 一覧を見る

- 2021/03/31 [【お知らせ】「Nursing Now ニッポン宣言」が宣言されました \(2021年1月21日\)](#) NEW
- 2021/03/30 [【周知のお願い】「専門看護師をめざす」の公開と Facebook グループ「JANPU Cafe」の開設](#) NEW
- 2021/03/23 [【参加のお願い】24th EAFONSにおける Virtual Marketplace \(3月31日まで\)](#) NEW
- 2021/03/16 [【ご協力をお願い】ナースプラクティショナー教育課程に関するアンケート \(回答期限: 3月31日\(水\)\) \(APN グランドデザイン委員会\)](#) NEW
- 2021/03/04 [【お知らせ】「今月の注目!看護教員」2021年3月ご担当の先生をご紹介します](#) NEW
- 2021/03/02 [【ご案内】情報提供「コロナ禍における新人看護職員研修」\(日本看護協会\) 動画と資料が掲載されました](#) NEW
- 2021/03/02 [【ご案内】「Nursing Now: 看護の力で未来を創る」\(日本看護協会\) アーカイブ動画が掲載されました](#) NEW

2020年度

文部科学省・厚生労働省
からの情報提供

看護系大学に関する
実態調査

過去の集計結果はこちら

JANPU ホームページ

役立つ情報ハンドブック

注目の看護教員

多方面で活躍中の先生をご紹介します!

40周年記念事業

- 特別映像動画配信
- 40年誌注文票
- 40年誌抜粋版

日本看護系大学協議会
40周年記念事業

JANPU40年の歩み、そして未来へ

2016年1月30日(土) 於 日本赤十字看護大学広尾ホール

JANPU40周年特別鼎談 看護学教育 現代そして未来へ の動画

40年誌の注文票

40年誌は1冊からご注文を受け付けます。
送料は実費を頂戴します (ただし、5冊以上の場合送料無料)。
詳しくは下記注文票をご確認ください。

ご注文

ご注文は下記注文票をWordファイルまたはPDFファイルでダウンロードし、
記入の上、ファイル内の注文方法に従ってご注文をお願い致します。

Word形式

PDF形式

抜粋版はこちらよりご覧ください

日本看護系大学協議会 40年誌

— JANPU40年の歩み、そして未来へ —

抜粋版

一般社団法人 日本看護系大学協議会

目次

巻頭 日本看護系大学協議会 40周年記念式典・パーティ	
はじめに	3
代表理事 挨拶	4
寄稿 鼎談	6
第1部 JANPU40周年特別鼎談 鼎談	11
「JANPU40年の歩み、そして未来へ」	
第2部 JANPUのあゆみ 鼎談	29
Ⅰ. 6大学時代を振り返る	31
Ⅱ. 看護学教育の質向上	49
Ⅲ. 高度実践看護師	66
Ⅳ. 主な活動と成果	73
第3部 歴代会長からのメッセージ 鼎談	89
年表 鼎談	101
資料 鼎談	123
日本看護系大学協議会規約	125
About JANPU	132
歴代会長及び役員	134
入会年次順加盟校一覧	141
事業活動内容	145
編集後記	167

※本PDFは抜粋版となっております。
 全頁をご覧いただきたい場合は冊子版をご購入ください。
 冊子版のご注文については巻末をご参照ください。

— 103 —

8) Facebook グループ「JANPU Cafe」

